

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月20日(火)

事務事業		農園体験対策事業		担当課	農業振興課	担当係	農業用地係	管理番号	36212
総合計画	大項目	3	活力とにぎわいにあふれるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	中項目	1	農業のブランドを高め伝えるまちづくり		根拠法令 個別計画等	特定農地貸付に関する農地法等の特例に関する法律			
	小項目	1	農地の保全・活用と安定した農業経営の支援						
	主要プロジェクト								
事業概要		農業体験を通じて野菜等の栽培と収穫の喜びを体験し、農業に対する理解を深めてもらうために、市内在住の非農業者へふるさと農園を貸し出しする事業である。							
目的 ※何のために		農業体験を通じて野菜等の栽培と収穫の喜びを体験し、農業に対する理解を深めてもらう。							
対象 ※誰・何を対象に		市内在住の非農業者							
手段 ※どのように		ふるさと農園の貸出							
成果 ※何を求めるか		農業への理解が深まった市民の増加。							
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他( )							
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)	
		一般会計	6 農林水産業費	1 農業費	3 農業振興費	農園体験対策事業		262,896	
本事業の 主な業務		・農園の貸出					・		
		・農園の管理					・		
		・					・		
		・					・		
		・					・		
		・					・		

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画		農園の貸出 農園の管理	農園の貸出 農園の管理	農園の貸出 農園の管理	農園の貸出 農園の管理		
事業費	予算（現額）	269,000	269,000	453,000	434,000		
	決算額	223,560	262,896	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0		
	一般財源	223,560	262,896	453,000	434,000		
人件費	従事職員数（人）	0.28	0.28	0.43	0.43		
	人件費相当試算※	2,173,336	2,203,476	3,524,446	3,524,446		
総事業費試算		2,396,896	2,466,372	3,977,446	3,958,446		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	提供する農園数	目標値	ヶ所	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	
		実績値		5.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			全農園を利用してもらうことを目標としているため。/市で管理している農園数						
	実績値の算出式									
活動指標 2	農園の総面積	目標値	㎡							
		実績値		10,121.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			市が管理している農園の総面積であるため、目標値は設定しない。 / 農園の総面積						
	実績値の算出式									
成果指標 1	農園利用者数	目標値	人	124.00	124.00	124.00	124.00	124.00	124.00	
		実績値		109.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			農園の全区画が利用されることを目標としているため、区画数の合計を目標値とした。 / 農園の利用者数						
	実績値の算出式									
成果指標 2	農園新規利用者数	目標値	人							
		実績値		40.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			年度により空区画数が違うため、目標値は設定しない。 / 農園の新規利用者数						
	実績値の算出式									
成果指標 3	農園の利用割合	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		実績値		87.90						
	目標値の算定根拠/実績値の出所			全農園を利用してもらうことを目標としているため。 / 農園利用者数/農園全区画数						
	実績値の算出式					109/124				
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。  
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	市民農園について、土地所有者と借地契約を結ぶことで農園数（区画数）や面積を確保し、利用者へ貸し出しをすることができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	利用者については、広報やホームページにより募集を行い、前年と比較し利用者は横ばいであった。また、明戸、川本に於いて貸付期間5年間を終了する方が複数いたため農園の新規利用者数が増加した。また、農業体験を通じて野菜等の栽培と収穫の喜びを体験してもらい、農業に対する理解が深められたと考える。
			評価者 係長 小林 正行

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	農園用地は市が所有者から賃借し、利用者に無料で貸出を行っているが、運営管理の面では農園毎に組合が組織されており、組合費（年間1,000～2,000円程度）を徴して農園の管理等を行っていることから、効率的に事業が執行されている。
			評価者 係長 小林 正行

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	遊休農地解消のために、農業委員会が始めた取組みが当該事業のスタートである。 しかし、目的に対する貢献度は事務負担に対して高くなく、今後は事業ドメインの見直しからの再 設定を検討する。
達成状況及び その効果	本事業は市主要プロジェクトのシニアが輝くふかやプロジェクト（就農サポートの実施）に位置付 けられているが、この取組みによりシニア世代の就農サポートの推進を図ることは困難な状況で ある。このため、第2次総合計画後期基本計画の主要施策での位置づけを再検討している。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	農園体験対策事業	担当課	農業振興課	担当係	農業用地係	管理番号	36212
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>多くの市民が農園を利用されており、引き続き農業に対する理解が深められるように努める必要がある。また、農園体験対策事業をシニアが輝くふかやプロジェクト（就農サポート事業の実施）とは、別の方向性で位置づけることで検討が進んでいる。</div>					
<div>上記を実施するための具体的な取組内容は？</div>		<div>評価者</div> <div>農業振興課長 前野 武一</div>					

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	

8. 評価指標グラフ

